

資料提供年月日	令和2年1月10日		
問い合わせ先	課名	庭園都市推進課	
	電話	直通 803-1393 内線 3688	
担当者	職名・氏名	担当課長	森谷 和政
	職名・氏名	室長	難波 雅彦

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 県庁通りの再整備について
- 2 趣 旨 岡山市が目指す魅力と賑わいのある中心市街地の創出に向け、岡山市の賑わいの核である「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」をつなぐ県庁通りにおいて、車道を2車線から1車線にすることによる歩道の拡幅を行い、快適でゆとりある歩行空間の確保を図るため、来週から工事に着手しますので、お知らせいたします。
また、再整備後のイメージパースができましたので、お示しします。
- 3 備 考 添付資料
- ・ 県庁通り再整備後のイメージパース
 - ・ 県庁通りデザイン方針
 - ・ 県庁通り再整備 施工位置図



県庁通りのデザインについて

～ゆとりと落ち着きがある洗練された空間の創出、人があふれ賑わう通りの実現を目指して～

デザイン方針

① 賑わい創出のために“活用”できる空間

沿道事業者によるオープンカフェ、ベンチやプランター等の設置。

② 県庁通りの都会的なイメージを体現

県庁通りは昔から“情報の発信地”“岡山の最先端”といったイメージ。
そのイメージを体現する都会的（アーバン）で飽きの来ないスタイリッシュなデザイン。

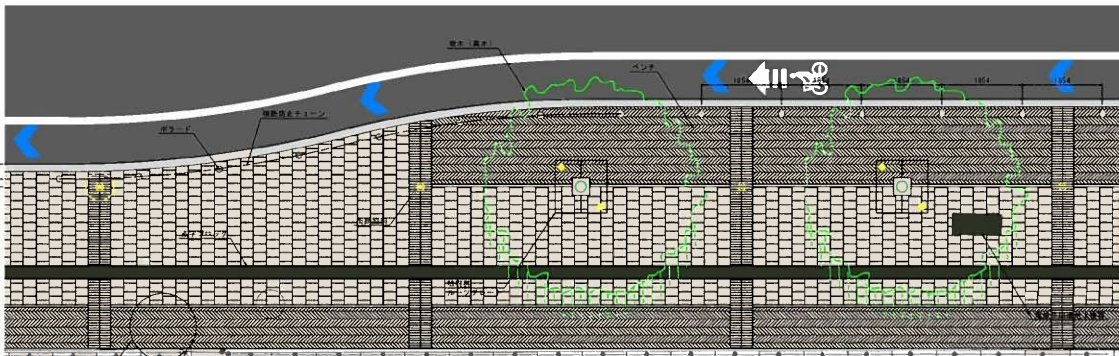
③ 沿道の店舗や活動する人が主役となれるよう 落ち着きがあり、親しみの持てる空間

落ち着きのある舗装材の色・パターン、温かみのある照明やアップライトによる夜間の良好な景観形成、
樹形が美しく季節感のある植栽。

④ 安心・安全に活動できる空間

歩行者と自転車の分離、照明による明るさ確保。緊急車両通行のための十分な幅員。

空間全体のデザイン・配置



ポイント1 人中心の空間と緑の空間の両立

ゆったりと歩けまた賑わい創出のため活用できるよう**広々とした歩道空間**を設け、かつ**緑の憩い空間**も創出できるよう**ボリュームのある樹木**を**広幅員部**に配置する。

ポイント2 配置・配色による洗練された空間の創出

人や沿道が**主役**という観点からシンプルな材料を使用しているが、**照明・植栽を一直線上に配置**することや**舗装材と照明・ボラードの配色を調整**することで洗練された空間を創出する。

植栽 (アヤケヤキ)

- ・ 樹形の美しく季節感のある樹種を選定
- ・ 楽しいまち歩きに適した、木陰のできる樹種を選定
- ・ 通常のケヤキと比較して、横幅が広がりすぎず、維持管理性等を考慮
- ・ 樹木を等間隔 (約8m) に設置することで、調和のとれた空間を創出
- ・ 緑の印象のある通りを創出するため、最初から6~7m級のものを植樹する

緑視面積 **約2倍にUP**

※見た目の緑のイメージ … [横から見た緑の面積] × [本数]

緑陰面積 **約4倍にUP**

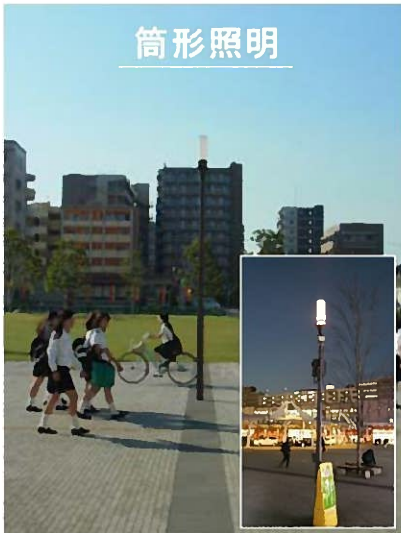
※人に優しい木陰の空間 … [上空からの投影面積] × [本数]



照明

- ・ 沿道や活動する人が主役となれるよう、主張しすぎないスタイリッシュなデザイン
- ・ 落ち着いたくつろいだ空間を演出する為、色温度の低い黄色がかった電球色
- ・ 広がりのある明るさを演出するため、筒形の灯具 (一部笠形)
- ・ アッパーライトによる夜間の良好な景観形成

筒形照明



笠形照明



電球色のイメージ

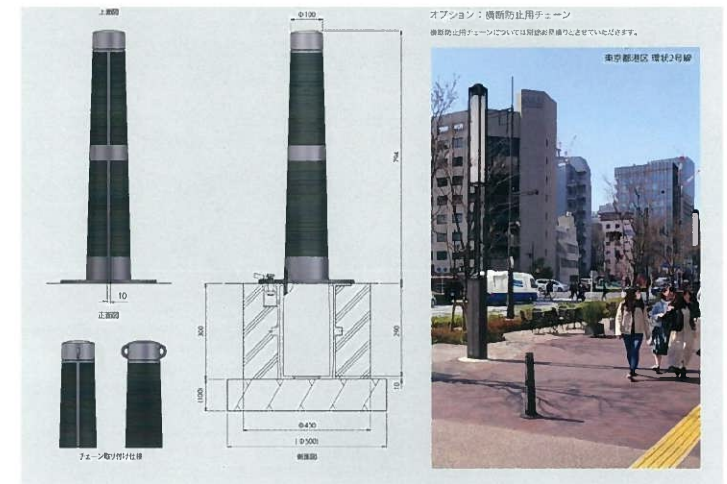


アッパーライトのイメージ



ポラード

- ・ 沿道や活動する人が主役となれるよう、主張しすぎないスタイリッシュなデザイン
- ・ カラーは、照明と併せて調和のとれた空間を創出



出典：ヨシモトポールカタログ

県庁通り再整備 施工位置図

